

国際ロータリー第2580地区

## 石垣ロータリークラブ週報

2025年(令和7年) 5月 28日(水) 第35回例会(通算3052回)



2024-25年度RI会長テーマ  
RI会長: ステファニー・アーチック

### 2024-25年度 ◆クラブ会長テーマ◆ 「親睦と友愛の絆で広げる奉仕」

会長: 宮城早人 副会長: 今西敦之

幹事: 新里裕樹 直前会長: 前原博一

副幹事: 木下省三 会場監督(SAA)委員長: 黒島勝

◎青少年奉仕月間

今月のロータリーレート 1\$¥142

石川 彌八郎 地区ガバナー

テーマ: 隔たりを取り除き、“ご縁”を大切に

### 会員職場紹介



## 請福酒造

農業を営んでいた祖父が創業しましたが、当時は米軍統治下で本土とは異なり、新規参入が比較的容易だった事と、泡盛造りの活況を見て始めたと思っています。私は幼い頃から家業を継ぐことを意識しており、大学卒業後に戻り、30代前半で社長を任されました。もの作りや経営は性に合っており、「新しいものを作る」という姿勢を大切に、困難に直面した際は、できない理由を解消し、できる仕組みを作ることを重視してきました。新しいことへの挑戦は苦労も多いですが、多様な商品展開は、お客様のニーズに応えるためです。離島という不利な条件の中、県外の方に喜んでもらえる酒造りを心がけ、自分たちが美味しいと思える味を追求しています。地元である石垣島への思いは強く、伝統を守るだけでなく、時代の変化に合わせて進化させていくことが大切だと考えています。地元のニーズに応えることで、新たな伝統が生まれると信じています。地元産の原料を増やした商品開発や、農業との連携を強化しながら、私たちの技術は海外でも通用するので、さらに世界市場への進出を進めて行きたいです。



KENRYU KANNA  
漢那 憲隆

5月のプログラム 5/28(水)宜野湾 RC との合同例会

例会日 水曜日 12:30~13:30  
事務局 〒907-0013 石垣市浜崎町 1-1-4  
URL <http://ishigaki-rotary.jimdo.com>

例会場 アートホテル石垣島(0980)83-3311  
TEL/FAX(0980)83-2917  
E-mail [ishiroatary@ninus.ocn.ne.jp](mailto:ishiroatary@ninus.ocn.ne.jp)

◇総会員数：55名（正会員53名・名誉会員2名・出席免除会員2名）

◇出席義務会員数：51名 ◇出席人数：28名 欠席人数：23名 出席率：52.80

《司会進行：黒島 勝・村松 秀規》

◇ロータリーソング：君が代 ロータリアンの行動規範 ◇メイクアップ：新川正人 新賢次 南波正幸

◆会長挨拶◆  
宮城 早人



皆さんこんにちは。本当にお久しぶりです。スケジュール帳を確認しましたら、このアートホテル例会場で行った例会は4月16日水曜日でした。そして今日は5月14日水曜日、ここアートホテルの例会場での例会は、おそらく1ヵ月振りということになります。その間、4月23日には東京立川で地区大会、そして姉妹クラブである東京上野クラブさんとの合同懇親会も大盛況の裡（うち）に取り行われました。ご参加いただきました会員の皆さん、本当にありがとうございます。

地区大会では、73クラブの各クラブ紹介というプログラムの中で、当石垣クラブの紹介としては「1962年創立で、今年創立64周年を迎える伝統と実績を誇る日本最南端のロータリークラブです。」と紹介され一際（ひときわ）大きな拍手をいただきました。そして、姉妹クラブである上野クラブさんとの懇親会の場で、私は会長挨拶として「上野クラブさんとは既に隔たりは取り除かれています。お互いはお互いの正会員や準会員みたいな間柄で、上野クラブさん53名、石垣クラブも53名なので総計106名の大所帯のクラブです。」と挨拶をさせていただきました。上野クラブさんとの深い絆を確認させてもらった素晴らしい懇親会でした。

本年度は残り僅か1ヶ月半。しかしながら、ビッグイベントが目白押しです。来たる5月21日から24日まで「台湾友好姉妹クラブ訪問の旅」として当クラブ会員10名と同行されるご婦人2名の総勢12名で行ってまいります。こちらが長年友好クラブとして築いてきた台東ロータリークラブと台北大同ロータリークラブとのご交誼を温めてまいりたいと思います。また、翌週の5月28日には宜野湾クラブさんが11名ご来島いただき、昼の例会に参加予定で合同例会を行うこととなりました。また同日夜には懇親会、翌5月29日には観光をしたいとの申し出がありました。会員の皆様には是非とも宜野湾クラブさんとの例会へのご参加並びにご対応ご協力の程宜しく願いいたします。6月10日火曜日には宮古島にて宮古島ロータリークラブさんとの合同例会があります。ご多忙のこととは存じますが何卒ふるっての多数のご参加をお願いします。

そしてまた更には、会員有志の企画として、6月16日月曜日に長崎佐世保北ロータリークラブとのメイクアップの参加者を募っております。佐世保北クラブさんは、昨年7月に5名が当クラブ例会でメイクアップされました。そのお返しではないのですが当クラブとしても表敬訪問させていただきたく遠藤パスト会長が中心となって動いています。どうぞご参加の程ご協力よろしくをお願いします。

さて、今日の週報には、松尾和彦ドクターが掲載されています。先回例会での卓話も載っています。市民の心の声を聞いて、市民のメンタルヘルスに日々ご貢献されているドクターチャーリー松尾先生の「やしの木クリニック」さんが益々のご繁栄ご活躍をされますこと心より祈念申し上げます。

また、先日、ゴールデンウィーク中期間中のニュースですが、当クラブ会員の佐久本達さん、とうとう出ましたね。佐久本達さんが率いる佐久本商会さんが図書館に8台の温水洗浄便器をご寄贈設置されたとの由、誠に素晴らしいご貢献活動だと思います。皆さん、拍手をお送りしましょう。先週の例会で、当クラブ会員の同級生のご活躍の話をして、佐久本達さんについてのお話は後回しにしていたのですが、本当に素晴らしいご貢献活躍だと思います。佐久本達さんそして佐久本商会様の益々のご活躍ご発展を祈念申し上げたいと思います。

今日はこれから新入会員入会式があります。琉球銀行八重山支店長亀島健司（かめしまたけし）様並びに株式会社八重山日報社代表取締役宮里育江（みやざといくえ）様です。また新たに素晴らしいメンバーにご入会いただくことになりとても嬉しい限りです。今日はどうぞよろしくをお願いします。

また、今日は宮良榮子パスト会長に卓話をいただきます。宮良榮子さんは1996年入会、入会歴29年のベテラン、2004年-2005年の当クラブ初の女性会長として、会を支えてこられ、表に影に我々会員を励まし、支え、最高齢でありながらいつも矍鑠（かくしゃく）と凛（りん）として我々の精神的支柱として長年活躍されてきました。今日は「私とロータリー」というタイトルで宮良榮子パスト会長に思いを語っていただきます。今日はどうぞよろしくをお願いします。

それでは、「親睦と友愛の絆で広げる奉仕」のスローガンの下、今日も楽しい例会にしていきたいと思います。どうぞ宜しくお願いします。

## ◆ 幹事報告：新里 裕樹 ◆

こんにちは。先ほど理事会が行われました。

そのなかの議題の3件についてご報告いたします。

1).ミャンマーでの地震災害について、支援金のご協力を求められましたので、会員一人当たり 500 円の支援を行うことが決定いたしました。災害が多いので、特別寄付の予算の中から支援したいと思います。

2).島の子ども応援祭りが6月開催されます。そちらから石垣 RC にご後援依頼がございまして、承認をいただきました。ありがとうございます。

3).今後の日程について

5/21～5/25 まで台湾姉妹クラブ・友好クラブ訪問の旅に行きまして参ります。各クラブとの交流や市長表敬訪問等して参りますので、後日ご報告させていただきます。

5/28(水) 宜野湾 RC との合同例会となります。

ぜひ、多くのメンバーで迎えられたらと思います。

その後、夜には懇親会も用意しておりますので、追ってご案内させていただきます。6/10(火)は、宮古島 RC との交流例会で、今年はこちらから宮古島へ行くことになっておりますので、ご予約を空けて頂きますよう宜しくお願いします。

「指田文庫」の図書券について、6月20日(金)15時の船に乗って、竹富小中学校の子どもたちへ図書券を寄贈したいと思います。ご参加できる方は、私の方にご連絡いただき、多くのメンバーで子供たちの喜ぶ顔を見られたらと思いますので、宜しくお願いします。本日の報告は以上となります。本日もどうぞよろしくお願い致します。

## ◆ 新入会員 挨拶 ◆

**亀島健司会員**(琉球銀行八重山支店 支店長)

琉球銀行支店の亀島でございます。よろしくお願い致します。1973年生まれの、今年52歳になります。前の支店が名護の大宮支店というところでした。

そこでは名護ロータリークラブ、前田裕子会長のもとにも加入しておりまして、また今日、このように石垣ロータリークラブに加入することに嬉しく思っています。

石垣 RC は、63年ぐらい前に第1回の定例会は、琉球銀行の八重山支店で3回ほど行われたということも聞きまして、非常に親近感を覚えております。

名護 RC 以上にロータリークラブの活動なり、出席なりということで、精力的にやっていきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願い致します。

**宮里育江会員**(株八重山日報社 代表取締役社長)

皆さん、こんにちは。株式会社八重山日報社を前社長の方から引き継ぎまして、代表取締役となりました宮里育江と申します。よろしくお願い致します。このような形でロータリークラブに入会すること、皆様に快くお受けしていただきまして、誠にありがとうございます。

私も、このロータリーというもの、まだまだ未熟な点があるので、これから皆様を通してしっかりと学ばせていただきたいと思っております。よろしくお願い致します。

## ◆ 会員卓話：宮良 榮子 氏 ◆

(社会福祉法人希望ヶ丘 理事長)

テーマ:私とロータリー

皆様こんにちは。今日のご入会者を迎えられる大変嬉しく思います。宜しくお願いいたします。

今日は、大田さんの声かけで、榮子さん卓話やってくれない？と声かけ頂きまして、いいよと言ったもののちょっと悩みましたが、しかし、これまでロータリーの皆様には大変お世話になってきましたので、今日はその感謝を込めて、「私とロータリー」ということで卓話をさせて頂きたいと思っております。

縁あって1965年、今から60年前、私は沖縄本島より石垣島に嫁いで参りました。

当時は、港に船が接岸することができなかったんです。

奥の方で小さな船に乗り換えて港に到着したような状況でございました。そういう記憶があります。

60年前の私は若い24歳でした。主人が26歳で、若い2人は本当に何も恐いものもなかったような気がいたします。

しかし、嫁いだ宮良家は古いきつりの旧家で、6人兄弟の下から2番目の息子1人ということで主人と両親との同居でした。

新婚生活というものもなく新婚生活とはほど遠いものでした。主人以外1人の知り合いもない私は、子供が生まれるまでの2年間は大変心細い思いをしました。

義父は7年間、義母は18年間共に過ごすことができました。母は88歳の長命でしたが、最後の8年は認知症となった母の介護に明け暮れた記憶があります。

今のように、介護用品が整っていないため、オムツは使い捨てではなく、綿の布をオムツにして作り、子供たちの洋服の切れ端を集めてオムツにしたことが記憶にあります。

もちろん洗濯をして、日々そういう風な生活でした。その頃は、洗濯機もなく手洗いしたことが記憶あります。

そして、ある日、朝起きると母が居ないことに気づきまして、その日は土砂降りでしたので、どうしたのだろうと思って、探しているうちに警察の方から、お宅のお母さんですか？

と言われて、びしょ濡れだった母が警察に伴われて来て、その時に恐い思いをしたことが、いまだに思い出されます。

それからはその当時、主人と私の間に母を寝かせて、徘徊防止をしたような記憶があります。しかしながら、あの頃は、本当に大変だなという思いがありましたが、今、考えてみましたら、両親の同居のおかげで、子供たち4人を育てあげることができまして、ほんとに感謝の気持ちでいっぱいでございます。

現在、私が運営する老人福祉施設も、あの時に味わった苦しみや喜び等が全て生かされていると思っています。

社会福祉法人希望ヶ丘は、基本理念として、

一つ、私たちは温かい家庭的な雰囲気大切にします。

一つ、私たちは、常に自立生活向上と安らぎのある生活環境づくりに努めます。

一つ、私たちは、地域福祉と共に、高齢者のためのユート

ピアをめざします。

という理念をあげまして開所させていただきました。

この「ケアハウスばすきなよお」は沖縄県初ということで、県内外から注目をされ、マスコミ等の取材を多く受けることになりました。しかし、いざ施設開所となった時に、50名の定員が、たった1人からの入居でした。本当に信じられないほどのことでした。1人からの入居で、それで最低基準職員は6人、あの頃は9名でしたので、1人の介護するのに9名で介護した記憶がございます。本土からの冬の時期に7、8名、夏に4、5名の季節限定で利用されるような施設運営が続きました。収入は入らないのですが、9名の給料の準備に奔走しましたね。身内の給料はもちろん我慢して、水道料、電気料、2か月に1回、延期願いで書き換えに行くわけです。電気料も水道料も払えないものですから、そういうような状況が続きました。

そんな厳しい中でもデイサービスセンター及び在宅支援センターを建設するために、振興会から補助金をいただき、平成13年2月には、定員30名で開所させていただきました。軌道に乗るまでの期間は、何がなんでもこの事業は終わらせてはならない、続けていけばどうにかなる。

その一心の毎日でした。事業継続に必要な資金繰りは4年間で約2億3000万円を個人から用立てたこともありました。信じられないような話ですが、これは本当のことで、経営者の皆さんならどなたでも経験があるかと思いますが、銀行が相手にしてくれない状況がありましたので、365日資金繰りに大変苦労しました。別に銀行が悪いんじゃない、銀行に借り入れはしたんですけども、銀行の資金も払えないわけです。ですから、銀行が相手にしてくれないということなんですね。そういう中で、今思えば神様からの贈り物としか言いようがない。「ケアハウスばすきなよお」開所の1ヶ月前、ケアハウスばすきなよおは、平成8年9月18日ですので、その1か月前の1996年(平成8年)8月7日に私は石垣市初の女性ロータリアンとして石垣ロータリークラブに入会することになりました。

あの頃の入会資格は、石垣市商工会第3代目の婦人部長を務め、沖縄県商工会連合会婦人部副会長を歴任していくことによるものではないかと思えます。

その当時のロータリアンのメンバーの中には、今の会長の宮城早人さんのお父様、宮城辰雄氏、それから大濱達也さんのお父様の大濱正良氏、山田隆一氏、田場恵順氏、私を推薦していただいた石垣島製糖工場の社長、白川繁利氏と、素晴らしい立派な方々がおいでになりました。

その方々の皆さんが全員、私の背中を押していただいて、どんなに苦しい時でも、いつでも応援してくださいました。皆さん天国に行かれましたが、今でも感謝の言葉を伝えたい思いです。

そして、そのご恩を生涯忘れることはないでしょう。

私がロータリー会長を拝命させていただきましたのは、2004年～2005年、ロータリーのちょうど100周年の記念

の時でした。節目に会長をさせていただきまして、様々な思い出はありますが、その中でも、2005年の酉年に、大きな鳥の壁画をメンバーの皆さんが総出で手作りして施設に寄贈して下さったことが思い出に残っております。

今年で29年になりますが、しかし2005年～2006年に1年間ずっと休んでいるんですね。いろいろな事務的な事情がありまして、私はもう会長終わってすぐに、もう辞めたと本当に失礼な話ですよ。しかし仁開一夫さんが事務的な処理をしていただいて、また一年後にカムバックしました。それでまた再入会をしたというような経緯がございます。そういうこともありました。

皆さん、石垣ロータリークラブのメリットはなんでしょう。

皆さん、なんだと思いますか。

いろいろな人それぞれあると思います。いろいろな付き合いができて、仕事の件もいろんな思いはあるかと思いますが、私は、毎週水曜日のランチを共にし、声をかけていただき、励まされたことの数々です。

事業運営が上手くいかない中、厳しい状況をなんとか乗り越えられたのは、このロータリーでの仲間の触れ合いです。それが心の支えとなりました。

毎日、資金繰りに明け暮れるなか、水曜日になったらまた仲間に会える。この会に辿り着くことができた。あの時は本当に自分を褒めましたね。本当に厳しいなかにも、また今日が来れたなど、本当にそういうふうな状況でした。

そして、こうして明るく会話をすることによって、晴れやかになる、また1週間を乗り越えることができるってということで、ロータリーは心磨きでした。

1週間するとですね、いろんなわだかまりとか、人のせいにしてたりして、でも今起きたことは、全て自分のせいなんですね。全部自分のことなんです。人のせいにしたような、この気持ち、いやらしい気持ちはですね、1週間で積もるものですから、ロータリーに来て、素晴らしい皆様の1人1人の顔を見て、また心が磨かれて、雑草が抜かれてですね、また、いい気持ちになるわけです。そういうことで、私はほんとにロータリーに助けられて今があると思っております。

そういうことで、若い会員の皆さん、本当に若い素晴らしい、今地域を担っていらっしゃる方々が会員になっていただいて、大変嬉しいなと思っております。

その若い皆さんに、お願いごとというか、伝えたい事がありまして、私は厳しい時に決めたことがあったんです。

まず、『姿勢を正しましょう』姿勢を正しくして、『身だしなみをきちんと』する、これだけを心に留めてきました。

姿勢というのは、自分が楽な姿勢すると、相手がよく見えません。しかし、お腹に力を入れてきちっとすると、相手がよく見えるんですね。

ただ私はとにかく姿勢を正しくして、身だしなみをちゃんとして、それで乗り切ろうという思いで来ました。

皆さん、私は姿勢が1番大事だと思います。

食べる姿勢、人と話す姿勢、立ち姿、歩く姿、私は伴わな

いですよ、ただ努力はしているってことです。

どうぞ皆様も、自分の姿勢はどうか、お腹に力を入れてピンと引き締めているかなとか、そういうものをしていただきたいです。

それから『健康維持』機械とか人間が作り上げたものにはスペアがあるんですよね。機械を取り換えたりと色々できますが、人間にはスペアはないと皆さん思うでしょ。

しかしですね皆さん、人間には大きなスペアをここに持っているんですよ。人間の心がスペアなんです。そう思いませんか。自分が健康になろうと思えば、もちろんそれなりに運動もするでしょうし、色々考えもあるでしょうし、心が本当に正しければ、いい思いもありますし、病気にもなりづらと思います。

手で作ったものには色々スペアがあり、古くなった車のワイパーが古くなったから換えればいいですけど、人間にはそれは変えることはできませんけど、自分の心の中、自分の心に大きなスペアを持ち合わせていますので、個人個人が自分の心を磨くことによって健康が維持できて長命ができるわけです。心の中の模様、みんな改善できると思いますので、どうぞ皆さん健康維持、心のハートのスペアでちゃんと維持していければなと思います。

私ももうおばあちゃんになって、85歳で石垣市から感謝状をいただきました。しかし、85歳になってもいくつになっても健康だったら全然年を感じないんです。

ですから健康の素晴らしいと健康維持です。

それから3番目に、『親に感謝』

やはり皆さん、親に感謝ですね。親に感謝っていいことありますが、やはり親も子供たちを育てて、その子ども達も大きくなっていくと、親よりも大事な妻とか旦那さんとか出てくるわけです。親よりも大事な自分の伴侶とか子供たちが出てくるわけですよね。ですから親を大事にと言いつつ、どうしても自分の家族に目が行きがちです。しかしですね、やはり親は、あの世には何も持っていけないんですよ。いくら好きな主人がいても、いくら大事ないろんな人がいても、一緒にあの世について行けません。いろんな大事なものがあっても持っていけないんです。持って行けるのは心、心の思い出だけはあの世に持って行けます。

施設の中でも旅からの人が多いです。ですから私は常に、よそ様のお年寄りを面倒見て、自分の親はどうしているんだろうと思いますでしょ、だけど、皆さん安心して下さいね、皆様が目の前にいらっしゃるこのお年寄りを大事にすることによって、自分の両親、自分のおじいちゃん、おばあちゃん、またあちらで、別のところで、また皆様が大事にされますよってことを私はいつも話しています。

私も沖縄本島から来て60年になりますけど、祖父も両親も亡くなりましたが、本当になかなか親のことはできませんでした。両親から、おじいちゃんおばさんから色々お金を借りて運営した経緯もありますのでね、できませんでしたが、私はいつも自分の目の前のお年寄りを大事にしていれば、必

ずや自分の両親もあちらで大事にしてもらえてるっていう確信がありましたので、私は何も恐いものはありませんでした。ですから、皆さん、自分のお父さんお母さんよりも、また自分よりも大事な家族もできて色々あるかと思いますが、親は何も持ってこいとは言いません。1番大事なのは「声かけ」、「お父さん、お母さん元気？元気にしてる？どうしてる？」これだけでいいんですよ。

無視が1番ダメなんです。声をかけてもらえれば、親はね嬉しいんです。これで充分なんです。息子からも娘からも声をかけられてこの喜びです。これだけ、これだけあの世に持って行けますよ。あなたたちがいくらお父さんお母さんにお金あげても持って行けません。

ですからいつも声かけ、言葉かけ、これだけが本当に親に感謝の言葉だと思います。皆さんも親になって、自分の子供たちも見ているなかで、やはり親に対してもう一度、親に対して声かけをしようという思いですね。ぜひそうしていたければ両親も喜ばれるんじゃないかなと思います。

私は、施設を1996年9月の18日にオープンさせていただきました。その1ヶ月前に、神様はこの宮良榮子は到底自分1人で今のこの施設を運営するのに厳しいので、ロータンのみんなで応援してやりなさいということで私を入会に導いてくれたんじゃないかなと思っています。

地域を背負っている皆様です、1人1人が本当に素晴らしい方ばかりです。

私の大好きな上原晃子さんにもいつも支えられて、皆さん、1人1人に支えられて今があります。

それで私もそろそろここでロータリーも今年の6月をもって後輩たちに譲り、引退させていただいて、これからは主人の面倒を見ようかなと思っています。

私は本当に、皆様には感謝しかありません。

ロータリアンの皆様に出会えて感謝、1人1人の素晴らしいそのお人柄に感謝をさせていただきまして、また、石垣ロータリーの皆さんの方々が、未来の石垣市の発展に寄与されると信じておりますので、どうぞこれからも地域やいろんなことに協力していければと思います。

人間の一番の幸せは、人に頼まれることらしいです。

人に物を頼まれなくなった時は、もう最後って言います。

ですから頼まれようとする時は、喜んで「はい」と返事をして皆さん頑張ってくださいね。

本当に長い間お付き合いをいただきまして、また色々皆さんからの素晴らしいご支援をいただき、今の「ケアハウスばすきなよお」も順調に入居者がいらっしゃいます。前は入居者がいなくて大変な思いもしましたが、今は入居者がいっぱいになって、入れてくれと言われても入れてあげられない、この苦しみはやっぱりありますね。

そういうことで、皆さん心を磨いてね。清らかな気持ちで、いつも笑顔でこれからもまた過ごしていきたいと思っておりますので、皆さんどうぞよろしくお願ひします。

今日は拙い卓話でしたけど、どうもありがとうございました。

～ 例会風景 ～



宮良榮子パスト会長 卓話ありがとうございました。



宮里育江会員・亀島健司会員  
ご入会おめでとうございます。



カンヒザクラを植樹してきました  
(石垣市中央運動公園南側)

- 本日のニコニコ:** ★宮城早人会長: 亀島さん、宮里さん、入会おめでとうございます。これからもロータリー活動楽しみましょう。宮良榮子さん、素晴らしい卓話ありがとうございました。
- ★新里裕樹幹事: 宮良 PP、本日は貴重なお話ありがとうございました。また、宮里さん、亀島さん、これからよろしくお願ひします。
- ★今西敦之副会長: 宮良榮子パスト会長、本日の卓話、よろしくお願ひ申し上げます。亀島さん、宮里さん、ようこそロータリークラブへ
- ★宮良榮子氏: ロータリーの皆さまに感謝を込めて、今日は卓話をさせていただきます。
- ★上勢頭保氏: 亀島様、宮里様の入会を歓迎いたします。また本日の卓話 宮良榮子様へ感謝申し上げます。
- ★仁開一夫氏: 宮良榮子様 卓話ありがとうございました。
- ★大濱達也氏: 宮良榮子さん 感動の卓話でした。有難うございました。
- ★上原晃子氏: 亀島様、宮里様、ご入会式宜しくお願ひいたします。宮良榮子様、大変お世話になりました。感謝の気持ちでいっぱいです。
- ★橋本孝来氏: 宮良榮子さん、卓話ありがとうございました。亀島さん、宮里さん、入会おめでとうございます。
- ★垣本徳一氏: 八重山毎日新聞創刊 75 周年に接し、多くの会員の皆さまのご出席をいただき感謝申し上げます。
- ★玉城一吉氏: 宮良榮子パスト会長、ステキな卓話ありがとうございました。宮里さん、亀島さん、これから宜しくお願ひ致します。
- ★橋本・小林・新川・大田: 懇親会のお釣りをニコニコします。

◆BOX ¥17,450(累計¥313,550 円) ◆2,420(累計¥39,252) 合計¥352,802

5月

国仲 恵亮 氏 1日(木) 仁開 一夫 氏 3日(土)  
宮城 隆 氏 6日(火) 漢那 憲隆 氏 14日(水) 大浜 勇人 氏 15日(木)

